

女性研究者支援室

ワーク・ライフ・バランス・ダイアログ

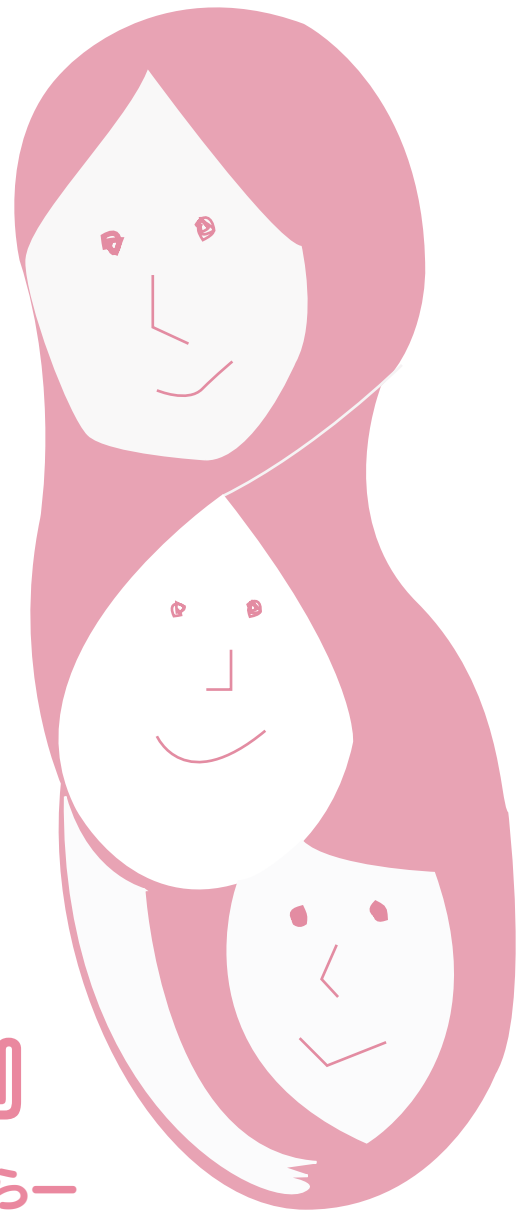
ロールモデル☆セミナー

2014 年 11 月 28 日 (金)

学術情報総合センター 1 階 文化交流室
(大阪市立大学杉本キャンパス)

16:20~18:00

お申し込みは不要 : 研究者、ポスドク、院生、学部生、職員、
一般の方も、お気軽にご参加ください!



『働く女性と 子どものこころ』

—留学・子育て・研究のライフヒストリーから—

幼い息子を中国に残して日本へ留学。就学前に来日した息子と家族が乗り越えた
数々の困難…ストレス、学童、思春期、受験…

こんな時、子どもの心は? 働く母親だからできることは??

実体験をもとに、働く女性と、その子どものこころのありかたを考えます

※ 託児サービスあります
お申し込み: 11/21(金)まで
詳しくは裏面へ

※ 16:20~17:30 子育て体験報告セッション

スピーカー: 劉慶 先生 (大阪市立大学都市文化研究センター研究員)

コメンテーター: 本村 汎 先生 (大阪市立大学名誉教授)

進行: 奥野久美子先生 (大阪市立大学文学部准教授)

※ 17:30~18:00 ディスカッション

【お問い合わせ】 大阪市立大学 女性研究者支援室 

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

E-mail: ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp Tel: 06-6605-3661

詳しくは・・・ <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp>

◆ 講師プロフィール

◆ スピーカー ◆ 劉慶先生

博士（文学）。大阪市立大学都市研究科都市文化研究センター研究員、奈良大学・梅花女子大学・奈良学園大学非常勤講師。専門は近世文学、演劇研究、特に日本の古典演劇と中国古典との関わりについて。蘇州大学（中国）の講師を辞任して、1996年に日本へ留学。

2004年後期博士課程修了後、本学にて研究を続けながら、現在では大学生になる男児の子育てに奮闘してきました。慣れない日本の生活で、研究はもとより育児や家族のコミュニケーション、特に親子関係にも不安を抱えてきました。留学・育児・研究の経験を振り返りながら、当時の悩み、そしてそれら難しい状況に直面したときどうしてきたか、お話できればと思います。

◆ コメンテーター ◆ 本村汎先生

学術博士（大阪市立大学）。大阪市立大学名誉教授。ご専門は家族社会学、社会病理学、家族臨床学。著書に『家族診断論』（誠信書房、1973年）、『現代家族の危機——新しいライフスタイルの設計』（有斐閣、1980年）、『生活福祉学——人間らしさを求めて』（相川書房、2004年）など。

「働く母親を持つ子どもって何を感じているんだろう…」。
セミナーでは家族問題について深い見識をお持ちの本村先生が、劉さんや奥野先生（女性研究者）の不安や悩み、そして働く母親を持つ子どもの発達心理について解説を頂きます。

◆ 進行 ◆ 奥野久美子先生

大阪市立大学文学部准教授。大阪市立大学女性研究者支援室運営委員。専門は日本近代文学（芥川龍之介）。

保育園児を育てるシングルマザー。日々、研究と子育ての両立に奮闘しています。「こんな育て方でちゃんと育つかしら」と不安に思うことも。そんな経験をもとに先輩ママ研究者の劉さん、子どものころの専門家である本村先生にお話をうかがい、フロアの皆さんからの意見も頂戴します。

託児サービスのご案内

◆ 時間：15:30～18:30

◆ お申し込み：お子さまの①お名前、②年齢、③希望時間帯を

ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp までメールにてお申し込みください。
折り返し、ご利用チケットや持ち物などのご案内をメールさせていただきます。

締め切り

11月21日（金）

お気軽にご利用ください

※ 託児サービスは、(社) 子ども情報研究センター 保育部ももぐみさんに委託しています